



## SIP 地域実装支援に関する報告会

平成29年度九州・山口地域実装支援に関する事業報告会が、去る平成30年3月2日に開催された。会場となった福岡市TKP博多駅前シティセンターのホールBには約140人の建設・設計業関係者、国・自治体職員、大学関係者等が参加した。

報告会では先ず、SIPサブプログラムディレクター若原敏裕氏による基調講演「SIPインフラ維持管理・更新・マネジメント技術—今後の方向性と展開—」がなされた。インフラ維持管理の「ありたい姿」とSIPインフラ維持管理・更新・マネジメント技術の開発技術の紹介がなされた。次いで、社会実装に向けた出口戦略として、技術認証・国際展開、地域展開・地域実装等、情報プラットフォーム戦略(Society5.0)及び研究開発・社会実装拠点ネットワークについて最新の情報提供がなされた。

次に『SIP九州・山口地域実装支援「インフラ維持管理に向けた革新的先端技術の社会実装の研究開発」の研究開発・実施内容の報告』が研究責任者松田浩長崎大学教授によってなされた。九州・山口地域におけるSIPインフラ維持管理・更新・マネジメント技術に関する研究開発成果の地域実装について平成29年度の県別の説明会や現場実装試験等の活動が報告された。

休憩を挟んで「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラムの紹介」がフォーラムリーダー日野伸一九州大学副学長によってなされた。インフラメンテナンスを実施するためには、産官学の連携した取組みが必要不可欠で、インフラメンテナンス国民会議が設立されている。この1月に設立された九州フォーラムについて、その体制、活動方針等が紹介された。

次に東北大学大学院工学研究科久田真教授による「東北地方における産官学の取組み」と題する特別講演がなされた。インフラ維持管理に関する我が国の動向やSIPプロジェクトを俯瞰した後に東北大学を拠点とした東北6県の産官学連携の取組み戦略と成果が紹介された。

最後にパネルディスカッション「産官学連携で取組むインフラマネジメント～メンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の実際と課題～」が開催された。3人による話題提供後に松田浩教授がコーディネーターとなり、話題提供者とコメンテーター2人(東北大学久田真教授、SPD若原敏裕氏)によるパネルディスカッションが開催された。



パネルディスカッションの様子



会場の様子

# 道守補助員コース

4月11日(水)、25日(水)に(公財)長崎県建設技術研究センター(NERC)にて道守補助員コースが開催されました！今回の補助員コースは地域創生人材育成事業「若年技術者研修」、「新規入職者研修」の一環として行われ、70名が受講されました。今回も道守認定者にご協力いただきました。いつもありがとうございます！



現場実習



講義風景

## 長崎地区道路清掃活動

6月9日(土)、今年度最初の長崎県道路愛護団体「道守養成ユニット長崎地区」による道路見守り活動(清掃・パトロール)を行いました。29名の参加があり、道路のひび割れだけでなく、色々な場所で異常を見つけました。また今回より、道守養成ユニットの会がこの清掃活動を担当しています。清掃計画や振興局への申請・報告など長崎地域の会員が協力して行いました。今後は県内各地域で愛護団体を立ち上げる計画です。皆様のご協力よろしくお願いたします。



集合写真



清掃風景



清掃風景

## 三者合同点検研修会

5月24日(木)、25日(金)に文教スカイホールにて長崎県職員、県職OB、道守認定者で行う道路施設点検のための研修会が行われました！当センターより松田センター長が「SIP事業」について、高橋特任研究員が「道守」について説明をしました。研修会終了後から点検が始まっております。研修会へ参加された方には各振興局またはNERCより連絡があると思いますのでどうぞよろしくお願いいたします！！



高橋特任研究員



松田センター長

# 道守養成ユニットの会通常総会の開催

平成30年度道守養成ユニット通常総会が7月13日、長崎大学文教スカイホールで開催された。吉川会長の開会挨拶の後、議長選出がなされ、会場からの推薦で三根副会長が選出された。議長から、237人の会員登録者のうち、当日出席が57人、委任状が103人で、出席総数は定足数の過半数越えの計160人で、本日の総会は成立していることが報告された。

議事に入り、次の6議案が審議され、承認された。

## (1) 会員動向(地域別会員数、新規入会者、退会者)について

昨年の総会以降に入会した計36人が新規入会者として承認され、道守認定の取り消しによる退会1人が承認された。地域別の会員数は、長崎84人、佐世保53人、県央42人、島原19人、上五島16人、下五島11人、対馬9人、壱岐3人である。

## (2) 平成29年度活動報告について

平成29年度活動報告として、長崎地区の道路清掃活動、三者合同点検への参加、現場見学会への参加、岐阜県高山市で開催されたMEワークショップ・シンポジウムへの参加報告がなされた。

## (3) 平成29年度会費の納入状況及び会計報告について

平成29年度の会費納入状況として、576,000円の納入があり、納入率は87%であることが報告された。平成29年度の支出は0円で、全額を平成30年度に繰り越すことが報告された。監事より監事監査の結果、会計報告に記載のとおり、適切に会計処理されていることが報告された。審議の結果、平成29年度の会計報告は原案のとおり、承認された。

## (4) 平成30年度活動計画について

資料に基づいて、平成30年度活動計画が説明された。現時点での計画に加えて、長崎地域以外の地域で活動計画が決まったら、事務局に連絡して欲しいとの依頼がなされた。平成30年度活動計画は原案のとおり承認された。これに先立つ理事会で、会長から平成30年度は各地域で活動を開始して欲しいとの依頼がなされ、各地域の会合にはインフラ長寿命化センター長松田教授が駆けつけるとの意思表示がなされた。さらに、長崎市に来なくても更新活動をやりやすくするために、愛護団体(道路)の登録の説明がなされた。総会終了後には、地域ごとに会員が集まり、活動についての話し合いがなされた。

## (5) 平成30年度予算案について

資料に基づいて、平成30年度の予算案が説明された。平成30年度の収入は会費収入と前年度繰越金を含めて、1,162,000円の見込みである。支出は、管理費372,000円、地域経費250,000円、運営管理費240,000円の計1,162,000円の見込みである。これらのうち、地域経費は地域部会で会議費・会場費・研修費等に使用できる経費で、長崎地域70,000円、佐世保地域60,000円、県央地域35,000円、島原地域30,000円、上五島地域15,000円、下五島15,000円、対馬地域15,000円、壱岐地域10,000円の配分となっている。予算配分案は、原案のとおり認められた。その後、事務局から、平成30年度会費納入について、8月30日までをお願いしたいという依頼があった。

## (6) 規約の改正について

道守養成ユニットの会の規約改正の2点と会費の運用について説明された。

①第9条会費第1項 道守補助員の会費を2,000円から1,000円に改正

② 第10条会員の喪失

(3)第9条に規定する支払い義務を1年以上履行しなかったときを追加。

③ 会費についての運用

第9条3項 免除すべき相当の事由があると認める会員について、前1項の規定にかかわらず、総会の議決にもとづき会費の免除または減額を議決することができる。



吉川会長の挨拶

この項を具体的に次のように運用する。

- ・工業高校の教員の会費は免除する。
- ・休職、病気、他県等への派遣等で道守活動ができない場合には申告があれば、会費の免除または減額を認める。会費納入の依頼の際に説明文を入れる。

以上の提案について、規約の改正と会費についての運用が原案のとおり承認された。最後に、エイエイオアの掛け声のもとに集合写真を撮影して、通常総会は終了した。



集合写真

## 特別講演会および道守養成ユニットの会活動報告

7月13日に開催された道守養成ユニットの会通常総会の後に「特別講演会及び道守養成ユニットの会活動報告」がインフラ長寿命化センターの主催、道守養成ユニットの会の共催で文教スカイホールにおいて開催された。130人を超える、道守養成ユニットの会会員、建設・設計業関係者、国・自治体職員、一般市民らが参加した。

報告会の冒頭で、道守養成ユニットの会会長吉川國夫氏による開会挨拶と長崎県土木部技監藤田雅雄氏による来賓挨拶がなされた。

活動報告として、道守養成ユニットの会事務局長山本尚次氏による「平成29年度道守養成ユニットの会活動報告」がなされた。次いで、本センターのセンター長松田浩教授が「SIPインフラ維持管理技術等の地域実装」を講演した。

休憩を挟んだ後は、国立研究開発法人土木研究所理事長西川和廣氏による「一巡するメンテナンスサイクル～AI導入チャレンジを始めて気が付いた事など～」と題する特別講演がなされた。インフラの総合診療医育成や点検・診断をAIに継承させる必要性などを道路橋の診断を中心に具体的にわかりやすく説明した。

最後に、インフラ長寿命化センター長松田浩教授の閉会挨拶をもって特別講演会は盛況のうちに終了した。



藤田氏による来賓挨拶



山本氏による活動報告



西川氏による特別講演



特別講演会の様子



松田教授による講演

## 日見夢大橋現場見学会！

7月19日に、道守養成ユニットの会主催の現場見学会を開催いたしました。23名の会員の方が参加されました。現場は、長崎市芒塚町に建設中の長崎自動車道「日見夢大橋」の上部工。形式は、国内でも数少ない波形鋼板ウェブを用いたエクストラドーズド橋です。現場事務所で説明を受けた後、現場へ移動し、上部工工事を見学しました。施工方法以外にも、維持管理についての質問も多く出ており、道守の皆さんならではの質問だと思いました。西日本高速道路株式会社九州支社様、株式会社ピーエス三菱様には、お忙しい中ご協力いただき誠にありがとうございました。こちらの詳しい記事は、センターのFacebookに載っております。



現場の説明



現場に移動中



見学の様子



## NEXCO 東日本エンジニアリングと意見交流会

7月4日に、(株)ネクスコ東日本エンジニアリングの5名の方と意見交換会を行いました。ネクスコ東日本エンジニアリングでは、高速道路の異常通報のアプリを作成し、社員の方がそれを利用して通報し、詳細な点検を行う流れになっているそうです。道守でも、道路異常通報のシステムを利用しているので、お互いに「利用者が通報しやすくするためにはどうしたらいいのか。」をメインに話が進みました。そのアプリの操作等を見せていただき、どこまで簡略化できるかを考える機会となりました。



## 道守補コースと特定道守コースの募集結果

平成30年度より、道守養成講座は受講料を納入いただき、講座を継続していきます。受講料以外にも、今年度は、「一般財団法人 上田記念財団」様にも助成していただいております。平成30年度は、道守補コースを1回、特定道守コースを1回開催する計画で、6月に募集いたしました。

道守補コースは、25名の定員に対し54名の応募がありました。応募が多かったため、会議で2回開催することを決定し、受講者が決定いたしました。9月6日より講座が始まります。

特定道守コースは、鋼構造15名・コンクリート構造20名の定員に対し、鋼構造8名・コンクリート構造9名が受講されます。こちらは、10月18日より講座が始まります。

「講座時期が早かったら、受けることができるのに…」というご意見も何件もあり、来年度の講座スケジュール計画の参考にいたします。



## 編集後記

こんにちは。インフラ長寿命化センターの村上です。道しるべ30号はいかがでしたでしょうか？紙面で振り返ると意外と色々なことがあり、あっという間の半年でした。昨年結成された道守養成ユニットの会も本格的に動き始めましたね。皆さま、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

暑い日が続いておりますので、熱中症などに気を付けてお過ごしください。

(村上)



猫のひらき



白猫が大好きな犬

## 問合わせ先

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: [michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp)

[インフラ長寿命化センターHP]

<http://ilem.jp>



[Facebook]

<https://www.facebook.com/ilem.nagasaki>



発行 2018.8.10